



[地域学部]

地域学科 国際地域文化コース

募集人数
(予定)

6人

鳥取での学びを生かして地元貢献したい!

私の出身校、村岡高校の「地域創造系」では、地域を教材とした学習活動を行っています。例えば、地域のマラソン大会の運営に携わったり、地元住民とのワークショップを行ったりと地域をフィールドにして、大学や社会に必要な問題解決力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を学ぶことができました。その中で、鳥大の先生から地域学を学ぶ機会もあり、地元の兵庫県香美町と環境が似ている鳥取県なら、地元と同じような地域課題について学べると思い、鳥大を志望。将来は得意な英語を生かして英語の教員になりたいかったので、英語の教員免許が取れる国際地域文化コースを選択しました。人前で発表したり、表現することが得意だったので、AO入試で受験することにしました。

自己推薦書を書く時に苦労したのは、自分の経験を簡潔にまとめること。伝えたいことが多過ぎて、いかに興味を持ってもらえるように書けるか、という点に気を付けました。自分の経験をリスト化し、実際の面接の時に、自分がアピールしたいことを面接官に聞いてもらえるよう、先生にも添削してもらいながらまとめていきました。

本番で堂々とアピールできる度胸を付けて!

面接やグループディスカッションは、同じ高校で他大学のAO入試や推薦入試を受験する仲間と一緒に練習しました。2次選考の「自己表現」試験で、たくさんの試験官の前でも怖気つかないように、職員室の前に立って、校長先生をはじめ大勢の先生方が見守る中で練習し、各先生から直した方がよいところを指摘してもらいました。練習の甲斐あって、本番では「すごく楽しかった」と思えるくらい、自分がやってきたことを生き生きとアピールできました。

改善することをあきらめずに、試験直前まで練習して、自信を持って試験に臨むことが大切です。それから、友人、先生、家族を頼って、みんなへの感謝を忘れないこと。たくさんの人に支えてもらって今の私があるという感謝の気持ちを、ずっと忘れずに大事にしています。あとは、やっぱりいろいろな経験をしておいた方がいいですね。高校時代にさまざまなことに興味を持ってやってきたことが、AO入試で生かされました。



(こばやし はるな)

3年 小林 遥南 さん

兵庫県立村岡高等学校出身

MY FAVORITE
TOTTORI



おしゃれなカフェがたくさん!

鳥取にはオシャレなカフェがたくさんあります。アルバイト先のカフェも内装や器がおしゃれで、とても楽しく働いています。また、地元の香美町と同じくらいきれいな星空が見えるのも鳥取の魅力ですね。

平成30年度AO入試 第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

平成30年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成31年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して
求める力

文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があって、他者の話によく耳を傾けて理解しようとする姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらをわかりやすく表現する力を求めます。

自己表現	「自己の知識や経験等」に関する自己アピールを、1人あたり10分で行いました。
グループディスカッション	人工知能に関する資料3点(A4版で8枚)を読んだのち、「人工知能が生活や文化、地域にもたらす可能性」について1グループ11名で140分のグループディスカッションを行いました。進行は教員が行いました。
課題論文	文化や経験を異にする人々が出会い、敬意をもって接することで互いの距離を縮めることのできた事例を紹介する文章(A4版で4枚)を読んで、90分で設問(1問)に解答するものとした。設問は、内容のどこに着目し、そこから何を学ぶことができるのかを論述するものとした(800字から1200字以内)。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり10分の面接を行いました。

□ 選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性	思考の柔軟性
2次(自己表現)			○	○	○	
2次(グループディスカッション)	○	○	○	○		○
2次(面接)		○			○	
2次(課題論文)	○	○	○		○	